

CASBEE-建築(新築)2014年版
京都新聞久御山工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.21)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.30					2.8
1 音環境		3.0	0.15					3.0
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		2.3	0.35					2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		1.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.1	0.25					3.1
3.1 昼光利用		3.4	0.30					
1 昼光率		3.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備	廊下にトップライトを配置(図面参照)	4.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		3.0	0.25					3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.0
1 機能性			2.8	0.40				2.8
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40					
1 広さ・収納性		1.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30					
1 広さ感・景観	事務室等の天井高CH2700	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	休憩室等の他、作業後の為のシャワー・浴室・仮眠室を設けている。	5.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			3.4	0.20			
1	空調・換気設備	空調熱源冗長化(1台故障時完全バックアップ)、重要度による系統分	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	トランス二重化、BCP用非常発電機設置、UPS設置	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.2	0.30			3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30			
1	階高のゆとり	階高平均4.08m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			2.8	0.40			
1	空調配管の更新性		2.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40			3.1
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮	整った外装デザインとし、地域の景観に貢献している	4.0	0.40			4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			4.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	十分な断熱性能を確保	5.0	0.01			5.0
2	自然エネルギー利用	廊下にトップライトを配置(図面参照)	4.0	0.12			4.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	5.0	0.62			5.0
	集合住宅以外の評価(3a,3b)	BEI=0.7.0以下	5.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)						
4	効率的運用		3.0	0.25			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
	集合住宅の評価						
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.0
1	水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1	節水		3.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2	非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60			3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	事務室等にOAフロアを採用	4.0	0.20			
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床シート用接着剤に使用	4.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			2.9
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2概算値71%	3.6	0.33			3.6
2	地域環境への配慮		2.4	0.33			2.4
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	敷地内を円滑に車両が走行・駐車できるように配慮している。	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3	周辺環境への配慮		2.8	0.33			2.8
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		2.3	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70			
2	発光の建物外装による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			